



ヨコハマラウンド最終回 11/3(金・祝)開催 「より美しい星座を描くために:アートの可能性とは？」 スハーニャ・ラフェル、スプツニ子！、 高階秀爾、鷲田清一、養老孟司が登壇

ヨコハマトリエンナーレ2017では、2017年11月3日(金・祝)に、公開対話シリーズ「ヨコハマラウンド」の最終回、〈より美しい星座を描くために:アートの可能性とは?〉を開催します。

以下に開催概要を発表いたします。

開催概要

ヨコハマトリエンナーレ2017の閉幕に際して行われる、ラウンド最終回は、「より美しい星座を描くために:アートの可能性とは?」のタイトルのもと、星を指標に大海原を航海した古(いにしえ)の船乗りたちの知恵と、星と星の間に線を引くことで神話的な形象を描き物語を紡いだ人間の想像力・創造力に思いを馳せます。まず、これまで行われてきたラウンド1~7で出た発言やポイントを概観し、孤立と接続が絡み合う現代世界の複雑さ、多様性、流動性、物事の多義性、複数性などについて、展覧会を振り返りつつ語り合います。そして、アーティストたちの試みから、物事の間を見ること、様々な孤立と接続の在り方、離れたものとの間を繋げる想像力/創造力や思考の飛躍について、また、それらが未来のヴィジョンへの発想の転換や私たちのこれからの生き方にどのようなヒントを与え得るのか、さらには国際展の可能性についても意見を交わします。

登壇者

ヨコハマトリエンナーレ2017構想会議メンバー

スハーニャ・ラフェル(M+美術館エグゼクティブ・ディレクター)
スプツニ子！(アーティスト、マサチューセッツ工科大学メディアラボ助教)
高階 秀爾(美術史家、大原美術館館長、東京大学名誉教授)〈司会〉
鷲田 清一(哲学者、京都市立芸術大学学長、せんだいメディアテーク館長)
養老 孟司(解剖学者、東京大学名誉教授)

ディレクターズ

逢坂恵理子、柏木智雄、三木あき子〈総合進行〉



募集要項

開催日時:11月3日(金・祝) 14:00-16:00

会場:横浜美術館レクチャーホール

定員:200名(事前申込制・先着)

参加費:ヨコハマトリエンナーレ2017チケット提示で無料

主催:横浜トリエンナーレ組織委員会

お申し込みはこちら <http://yokohamatriennale.jp/2017/event/2017/07/event08.html.html>

【問い合わせ先】ヨコハマトリエンナーレ2017広報事務局(株式会社プラップジャパン:桑間、横澤)

E-MAIL: pr_yokotori2017@ml.prap.co.jp TEL 050-5243-8863 (03-4580-9110)

【横浜トリエンナーレ組織委員会 お問い合わせ先】担当:西山、高橋

E-MAIL: press@yokohamatriennale.jp TEL 045-663-7232 (平日10:00~18:00 第2・4木曜日を除く)